

平成30年度第1回龍ヶ崎市感染症対策委員会会議録

記録者 健康増進課 野口 あゆ美

供 覧	部 長	課 長	補 佐	係 長	係 員
件 名	平成30年度第1回龍ヶ崎市感染症対策委員会				
日 時	平成30年11月19日(水)午後7時～8時45分				
場 所	龍ヶ崎市保健センター				
主 催 者	龍ヶ崎市				
出 席 者	<p>中山一生(市長)</p> <p>【委員長】 山本法勝(龍ヶ崎市・牛久市医師会)</p> <p>【副委員長】 児玉孝秀(龍ヶ崎済生会病院)</p> <p>【委 員】 小川晋一(JAとりで総合医療センター)</p> <p>緒方剛 (龍ヶ崎保健所)</p> <p>田尻育子 (しらはね保育園)</p> <p>石川隆子 (やすらぎの里)</p> <p>新宮昭司(稲敷広域消防本部)</p> <p>今井健太郎(龍ヶ崎警察署)</p> <p>仁平伸一(龍ヶ崎市立小中学校校長会)</p> <p>横井伸江(龍ヶ崎市養護教諭会)</p> <p>【事務局】 石引照朗(健康づくり推進部長)</p> <p>岡澤幸代(健康増進課長)</p> <p>佐藤牧(同課長補佐)</p> <p>唯根敦美(同課長補佐)</p> <p>相澤孝之(同成人保健グループ主査)</p> <p>前田壮之(同成人保健グループ主査)</p> <p>高倉貴子(同母子保健グループ副主幹)</p> <p>野口あゆ美(同成人保健グループ副主幹)</p>				

事務局 佐藤補佐	<p>本日はお忙しい中、ご出席をいただきまして誠にありがとうございます。会議に先立ちまして、資料のご確認をお願いいたします。事前にお配りさせていただきました会議資料はご持参頂きましたでしょうか。改めまして、ただいまより、平成30年度第1回龍ヶ崎市感染症対策委員会を開催いたします。</p> <p>まず初めに、委嘱状の交付を行わせていただきます。各委員の皆様に、中山市長より委嘱状を交付させていただきます、お一人ずつお名前をお呼びしますので、皆様それぞれ自席にてお受けとりいただきたいと存じます。それでは、委員名簿の順に、中山市長お願いいたします。</p>
-------------	---

中山市長	《委嘱状交付》
事務局 佐藤補佐	<p>ありがとうございました。ただいま皆様に委嘱させていただきました委員の任期につきましては、龍ヶ崎市感染症対策委員会条例第4条第1項の規定に基づき、本年6月1日より2020年5月31日までの2年間となります。どうぞ、よろしくお願いを申し上げます。</p> <p>なお、本日ご欠席の龍ヶ崎市議会議員坂本隆司様におかれましては、11月9日付けで辞職願が提出されたところであり、残期を務める委員については、今後改めて市議会よりご推薦頂く予定であります。</p> <p>それでは続きまして中山市長よりご挨拶を申し上げます。市長お願いいたします。</p>
中山市長	《挨拶》
委員	《委員自己紹介》
事務局	《事務局自己紹介》
事務局 佐藤補佐	<p>ここで、条例第6条第2項の規定に基づきまして、委員の過半数の出席がございますので、本会議が成立しておりますことをご報告いたします。</p> <p>それでは、本日の会議次第に添いまして議事に移りたいと思いますが、本委員会の委員長が選任されるまで、仮議長といたしまして、中山市長に委員会の進行をお願いしたいと思います。市長お願いいたします。</p>
中山市長	<p>それでは、龍ヶ崎市感染症対策委員会条例第5条第1項の規定により、委員長及び副委員長の選任を行いたいと思います。</p> <p>なお、委員長及び副委員長につきましては、委員の互選により選任することとなっております。初めに委員長の選任にあたり、どなたか推薦されたい方がいらっしゃいましたら、お願いいたします。</p>
委員	《事務局に一任という声》
中山市長	ただいま事務局に一任との意見がございました。皆さんいかがでしょうか。
委員	《異議なし》
中山市長	事務局で案はありますか。
事務局 岡澤課長	山本委員に委員長をお願いしたいと思います。
中山市長	ただいま事務局より委員長に山本委員との提案がありました。皆さんいかがでしょうか。
委員	《異議なし》
中山市長	それでは、山本委員に龍ヶ崎市感染症対策委員会の委員長をお願いすることに決しました。これを持ちまして、仮議長としても職務は終了させていただきます。ご協力ありがとうございました。
議長 山本委員長	《挨拶》
議長 山本委員長	それでは議事の進行にご協力をお願いいたします。まず初めに、副委員長について選任したいと思います。どなたか推薦されたい方はいらっしゃいますでしょうか。
委員	《事務局に一任との声》
議長 山本委員長	ただいま事務局に一任との意見がございました。皆さんいかがでしょうか。
委員	《異議なし》

議長 山本委員長	事務局で案はありますか。
事務局 岡澤課長	児玉委員にお願いしたいと思います。
議長 山本委員長	ただいま事務局より、副委員長に児玉委員との提案がありました。皆さんいかがでしょうか。
委員	《異議なし》
議長 山本委員長	<p>それでは、児玉委員に副委員長をお願いすることに決しました。児玉委員、よろしくお願ひいたします。前の方にご移動をお願いいたします。</p> <p>ここで、中山市長におきましては、別の公務のため退席されますので、よろしくお願ひいたします。ありがとうございました。</p> <p>次に、会議録署名人の指名をさせて頂きたいと思います。本日は、小川委員、中根委員をお願いをいたします。後日、会議録がまとまりましたら、ご確認の上ご署名をお願いいたします。</p> <p>それでは、本日の議事でございますが、3つあります。議事1つずつ説明と質疑応答を行う形で進めていきたいと思ひます。</p> <p>それでは協議事項(1)麻しん・風しんの流行状況及び市民への周知について事務局より説明をお願いいたします。</p>
事務局	《説明》
議長 山本委員長	<p>事務局の説明が終わりました。ただいまの事務局の説明に関してご意見・ご質問がありましたらお願いします。</p> <p>では私の方から。実際に、個別のチラシは学校に配布しましたか。小学校、中学校、幼稚園、保育園、全部配布したということでよろしいですか。</p>
事務局 唯根課長補佐	はい。
議長 山本委員長	あとは普及活動として行ったのはホームページと、メール配信ですね。メール配信は主に予防接種をしているお母さんたちなどが対象ですか。
事務局 唯根課長補佐	市の情報を取り入れるために、メール配信サービスに登録している市民の方々がいます。健康づくりと子育てを合わせて5,000名近くいますが、その方々に配信をしています。
議長 山本委員長	約5,000名ですか。そのくらいいるということ把握していませんでしたが、委員の皆さんはどうですか。
児玉副委員長	<p>質問ですが、目標として、どれくらいの人に伝わってほしいものなのでしょうか。日頃からこのような連絡がうまくいくかどうかで、次の新型インフルエンザにも関係してくると思うのですが。</p> <p>とても大変だと思いますが、どれくらいの人に伝えたいかという目標と、目標が達成されているかという評価の2つが必要だと思います。この辺りがうまくいかないと、いざ新型インフルエンザが流行したとき、本当に情報を受け渡したいときに、しじらないかどうか少し心配だと思ひました。</p> <p>こう言うのはなんですが、うまくいかなくてもまあ何とかなるだろうと思われる範囲の事柄でうまくやっついていかないと、いざというときに急には動けないのではないかと思ひます。情報媒体については若い人はネットを見るだろうし、ご高齢の方はあまり見ないだろうし、確かに難しいとは思ひますが、いかかでしょうか。</p>
事務局 唯根課長補佐	<p>今現在において、目標値というものは定めておりません。確かに今まで、周知をしてそれがどこまで理解され、周知されているかというような評価をしたことがありませんでした。今の先生のご意見を伺ひまして、情報を出しているわけですから、それをまた違う形でもらうことは可能ではないかと思ひ、そういったことを今後検討していきたいと思ひました。</p> <p>メールに関しましては確かに登録している方にしか伝わっていないところでもあり、またりゅうほ一という紙媒体の広報もありますが、これも一部見ている方にしか伝わ</p>

	らないということもあり、やはり色々な手段が必要であると常日頃感じているところです。こういったことを踏まえ、評価を行ってみたいと思います。
議長 山本委員長	皆さん、他に何かございますか。中根委員どうぞ。
中根委員	そのような広報活動をして頂いているわけですが、実際に市民が病院等に予防接種を受けに来た、といった形で各病院からの情報を集めるといったことはされていますか。
議長 山本委員長	行政・保健センターとしては、各医療機関はどのくらい手持ちのワクチンを持っているかという確認はしていないですか。
事務局 唯根課長補佐	はい。個別での医療機関への確認はしておりません。ただ、ワクチン関係で薬品会社とは情報交換をしております、今流通しているかやワクチンが品薄であるとか、そういった情報は貰っております。
中根委員	茨城県の知人ではないのですが、風しんのワクチンが大分品薄になっているという情報が他から入ったのですが、龍ヶ崎ではこういう形の広報を出した後、急に接種した人の数が増えたりするのかなどか、といったことをどのように見ていらっしゃいますか。
議長 山本委員長	もう1つよろしいですか。龍ヶ崎市としては麻しん・風しんワクチンの接種対象者をどのくらいに想定していますか。難しいですが、今回の事態において対象者を想定する手段がない。そうすると、各医療機関もワクチンをどれだけ確保すればいいか予測がつかない。 そして、皆さんは他の予防接種業務にも従事しているのでわかると思いますが、個人でワクチンを買って抱え込む、ということ規模の大きい所がやると、ワクチンが回ってこない。いつもどうするか悩む所ですが、対象者を想定する手段、把握する手段はないでしょうか。
緒方委員	先刻新型インフルエンザの話が出ましたが、おそらく風しんとは少し違うと思います。私も自費でMRワクチンを受けましたが、そういうのはかなり変わった人で、おそらく28歳から40代の男性をターゲットにすればよいのではないかと思います。その中でおそらくワクチンを打っていない人が10,000人くらいいるので、その年齢、30代・40代・50代前半の年代で1割くらいが男性のトータルの人数になると思います。もちろん女性も打っていない人がいますので、それは小さな数としていいと思います。 ただ、今、ワクチンをみんな打てばいいじゃないかと言っているのに厚労省が躊躇しているのは、日本中でそれをやり始めるとワクチンが足りなくなってしまうためだと思います。それから、おそらくお金を払う以上はそう簡単に皆さんが打ってくれるわけではない。だからなかなか難しいと思いますが、MAXとしてはそういう想定になるのではないかと思います。
議長 山本委員長	皆さん他に何かございますか。1つのプランですが、今、子どものワクチンは市が主体になって確保してくれていますね。そして必要な医療機関へ送るようにしている。何かそういう手段を考えられないか。そうしないと、例えば私が10人、20人分とワクチンを購入するとして、希望者がいなければロスが出るんですよ。有効期限ぎりぎりになっての返品は当然メーカー側も困ると言ってくる。 では、必要なときにワクチンを発注する。すると、個別の1本2本の発注ではもうワクチンがないと返答が返ってくる。今、そのような状況だと思います。お二人の委員（児玉委員・小川委員）は半ば公的な病院2箇所から来ておられるから、そういうことについてはむしろ中根委員の方がお詳しいと思いますが、必要なときに発注するという人はいないですよ。そういう意味では、議会及び市長の考え方が入ってくると思いますが、市の方である程度ワクチンを確保しておいてそこから市民のためにこういうことをしますよ、と言えば誰も反対する人はいないと思います。これは皆さんの主義主張によらないと思います。でもその場合は必ずロスが出ますよ。 それから次に問題なのは、個別の医療機関でワクチンを大量に在庫で抱え込ん

	<p>でこの前の停電事故のようなことを起こすと、ワクチンが駄目になってしまうことです。なので私はこういうワクチンを多量に置かないようにしています。しかし、必要があって発注すると大体物が無い。いつも困っている事柄の1つを話してみました。</p> <p>今回もし非常時の対策を取るのであれば、行政と医療機関と相談のうえで、想定人数は低めでもよいですからワクチンを購入しておいて、購入経費そのまま渡す。これも、ワクチンを抱え込んで市の方にロスが出る可能性があります。</p> <p>他に何かありますでしょうか。無いようでしたら協議事項の(2)新型インフルエンザ等対応マニュアル(案)について、事務局よりご説明をお願いします。</p>
	<p>※協議事項の(2)は龍ヶ崎市附属機関の会議の公開に関する条例第5条第6号に基づき非公開</p>
事務局 岡澤課長	<p>引き続き、その他の説明も一緒にしていきたいと思います。</p>
事務局 相澤主査	<p>《説明》</p>
議長 山本委員長	<p>ウェルフォームについては事前に聞いていたらデータを集めて持ってきたと思うんですよ。委員の3人が医療関係者ですが、こういう話が出た場合、意見を言う際は必ず自分なりにちゃんと検討してから口に出します。今急に話が出たので、データ比較等どの程度断言していいか未検討でした。実際に使われたことはありますか。</p>
児玉副委員長	<p>ありません。</p>
議長 山本委員長	<p>先生方(小川先生・児玉先生)も使われたことがない。そうすると、JAとりでも済生会も使ったことがないということですね。実際にそれぞれ病院の臨床現場で、感染症と非常に密接な現場におられる先生方です。感染症が起きたらすぐに自分の診ている患者さんに影響がある方々が、そちらについてまだ知らないと言われている。</p> <p>事前に言うておいて頂ければデータを持ってきたと思います。皆知らないということは、ちょっと答えづらいですね。先生方お二人も驚いたと思いますが、言うておいて頂ければすぐ検討して文献を持ってきたと思うんです。1時間も経たないで結論が出せたかと。</p>
事務局 相澤主査	<p>備蓄品ということですので、今後の検討課題でありますことから、また次回の会議のときにでもご意見を頂いて備蓄していくという考えもありますので、そのような形にさせて頂けたらと思います。</p>
石川委員	<p>今のお話なのですが、単価は変わらないのでしょうか。</p>
事務局 相澤主査	<p>単価はほぼ変わらないようです。若干、今回の製品の方が高くなっています。</p>
議長 山本委員長	<p>これは回答を保留とさせて頂きましょう。事前に分かれば先生方の得意な分野なので、30分か1時間で、現在自分は使っていないけれど感染症学会ではこういうふうに言っていると、そのような意見がぱっと出せたと思うんです。専門家の立場から簡単に出てくると思います。</p>
児玉副委員長	<p>こういう議論をするときに思うのですが、このような緊急事態で、我々が直面したことがない事態にどこまでエビデンスを求めるかすごく難しいなと思うんです。ここでは決められませんが、結局備蓄できないのでは意味がないので、多少エビデンスが落ちてちょっと仕方ないかなと思いますし、今働き方改革がありますが、緊急事態にはやはり就労時間制限などを外して県として対応する等、言ってもらえるとありがたいです。</p> <p>例えば、問診票も医師が確認して診察しワクチンを接種するということになっていきますが、全く問題のない問診票で熱もなければ、成人の場合はもうそのまま接種して、何かあったら医師が対応するとか。平常と同じ診療レベルを維持して緊急事態に対応しようとする、とてもお金がかかりますし、集めたい物も集められませんし、協力したくてもできないので、ちょっと外して頂かないとこれ以上は厳しいかなと、個人的な感想ですが、今日話し合っていて思いました。</p> <p>このウェルフォームも無いよりあった方が遥かにいいのではないかと思います。そ</p>

	<p>れこそアルコール濃度が足りない物でも、無いよりはあった方がいいのではないかと思います。日頃の臨床の日常現場では駄目ですけど、危険度が高い地域では完璧な薬剤を用意しておいて、裾野は多少エビデンスレベルが落ちていても仕方がない。結核などの対策と一緒にですね。多少漏れがあることを飲まなくてはいけないのではないかなと思いました。なので、どれくらいエビデンスが出せるか、これについてはわかりません。</p>
議長 山本委員長	<p>色々な臨床・医療の現場で積み重ねて、こういうことをやったらこういう有効率があり、やらなかった場合はこれだけの危険性があるとか、このくらい有効率があってこれくらい害や副作用が出たとか、ある程度積み重ねないと意見が言えません。一番良い例が抗がん剤の場合ですね。やってみて本当に有効なのかどうかは半年、1年経ってみて初めてわかる。これもそうです。実際にやってみてどれくらい効くか、まだ人間のデータが出てないのではないかと思います。いつ頃発売されたものですか。</p>
事務局 相澤主査	<p>最近製薬会社に紹介されました。</p>
議長 山本委員長	<p>製薬会社はデータを持っているはずですので、それをもらってはどうか。臨床実験をして、やったグループとやらないグループでどれだけ差があるのかデータがなければ、有効かどうか誰も意見を言えないと思うんです。エビデンスとはそういうことなんですね。やった場合とやらない場合で、どのくらい本当に効くのか。</p>
緒方委員	<p>提案なんですけど、1年これで待つのも良いですが、それよりも、専門の先生もおられるし、集まったデータがあれば事務局にお送りして、私も見てみますが事務局で少し整理して、1年間何もしないよりも文献を整理して頂いて検討してみたいかがでしょうか。</p>
議長 山本委員長	<p>そうですね。行政側の県の代表として保健所長に出て頂いてますが、先生は感染症に非常にお詳しいので。</p>
緒方委員	<p>いえ、先生方は色々な文献を持ってらっしゃると思うんですね。あるいはたぶん、認定看護師や薬剤師などがこういうものに詳しいので、そういう方から文献をもらって事務局に送ってもらって一回整理して頂いては。</p>
議長 山本委員長	<p>ではそういう風に。今、案が出まして、その対応で参ります。</p>
緒方委員	<p>よろしく願いいたします。</p>
議長 山本委員長	<p>その他にかございますか。特にないようでしたら、本日の会議について、市から諮問が出ております。そちらについてご説明をお願いします。答申(案)があると思います。</p>
事務局 岡澤課長	<p>それでは市のほうから、感染症対策委員会に諮問しておりますので、本日もご意見を頂いた内容に関しましての答申案について短時間でまとめていけたらと思っております。お配りした資料をご覧ください。本日の午前中まで質問等お受けした中で、紙におとしました2つについて、回答案としてまとめさせて頂いております。簡単に読み上げますので、ご了承ください。</p>
事務局 岡澤課長	<p>《説明》</p>
事務局 岡澤課長	<p>これら2点を案として挙げておりますが、ただいまの慎重なご審議内容で、1点を「③」として追加したいと思っております。読み上げますので、ご意見等頂ければと思います。</p> <p>③ワクチン接種における医師確保や埋火葬班における死亡者搬送の課題、備蓄のあり方については、市の方向性を再検討されたい。</p> <p>これを3つ目に追加させて頂きたいと思っております。短い時間ですが委員の方々からご意見を頂ければと思います。</p>

議長 山本委員長	皆さん、そのまとめでよろしいですか。それでは、市の方から当会議に諮問が出まして、それに対する当会議からの回答としてそれでよろしいでしょうか。 それでは皆さん、長い間、貴重なご意見を出して頂きましてどうもありがとうございます。お時間の関係もごございますので、他のご意見がないようでしたら、この答申については事務局からの原案で異議はございませんか。
委員	《異議なし》
議長 山本委員長	では、以上で議事を終了いたします。進行にご協力頂き、ありがとうございました。
事務局 佐藤補佐	山本委員長ありがとうございました。事務局から連絡事項がございます。冒頭にお伝えいたしましたとおり、本日の会議記録がまとめ次第、山本委員長・小川委員・中根委員には後日ご署名のお願いにあがりますので、その際はよろしくお願いたします。また、次回の委員会の開催につきましては、平成31年度、2019年となります。時期などは未定ですが、開催に際しましては、日程が決まり次第通知いたしますのでご出席のほどよろしくお願いたします。それでは、本日は大変お忙しい中、委員の皆様、長時間にわたりましての慎重審議、誠にありがとうございました。

上記については、平成30年11月19日(月)に開催した平成30年度第1回龍ヶ崎市感染症対策委員会の会議録に相違ないことを確認したので署名する。

平成 年 月 日

委員長 _____

会議録署名人 _____

会議録署名人 _____